

セシニ同省ヨリ昨壬申八月商議ノ青森港燈臺  
 ハ官費ヲ以テ設クヘキ内外船舶ノ航路ニアラ  
 サレハ民費ヲ以テスルカ如キハ妨ケナシ但若  
 シ建築セハ其燈標ノ形質點燈ノ方法ハ燈臺寮  
 ノ指圖ヲ受クヘキ旨青森縣へ指令アラシラ要  
 スト回答セリ因テ同省回答ノ旨ヲ達シ建築入  
 費ノ并借ハ許可シ難タシト指令セリ九月十日

大藏省考課狀

鑛山分拆ノ部

明治六年七月ヨリ  
九月至ル

目次

第一編

東京府ヨリ府下深瀬等兵衛鉾層分拆ノ申請  
 ニ由リ稟候

第二編

横濱税関へ岡田平藏秋田縣ヨリ銀銅鉛ヲ積  
 廻セシ米國蒸氣エリエル船通関免許ノ達旨

第三編

大藏省

正院へ濱松静岡両縣ヨリ申牒ノ石坂周造等  
石腦油精製方并會社名義免許ノ稟候

第四號

岡田平藏外一名ヨリ秋田縣阿仁銅山外四ヶ  
山引渡期限ノ件ニ由リ申牒

第五號

足柄縣ヨリ豆州諸鑛山産出ノ吹目金買上ノ  
申請

第六號

工部省ヨリ庚午三月中鑛山畚械買上代價残

金返納ノ来牒

第七號

岐阜縣ヨリ管下郡上郡畑佐村鑛山掛ノ者廢  
置ノ稟候

御稟

御答

大藏省考課狀  
第一號  
明治六年七月ヨリ  
九月ニ至ル

大藏省考課狀

鑛山分拆ノ部

明治六年七月ヨリ  
九月ニ至ル

第一號

東京府ヨリ府下浅草尾町深瀬等兵衛ナル者府  
内ニ於テ下金買并鉄物渡世ノ者ヨリ銀具等吹  
直シニ用フル鉋屑ヲ買集メ之ヲ分拆鑄製スレ  
ハ鉋屑一貫目ヨリ銀六分ト銅百目トヲ生シ而  
シテ尚ホ二百九十九匁六分四厘ノ残鉋ヲ得ル  
ニ付其銀ハ官ニ於テ之ヲ買上アラシムルヲ乞ヘ  
リ右ハ廢物ヲ以テ有用トナス其益タル固ヨリ

鑛山分拆ノ部  
第一號

言ヲ待ス然レモ亦一箇ノ分拆業ニシテ殊ニ銀  
質ヲ取扱フハ容易ノ事ニアラサレハ其處分如  
何シテ可ナラシヤト令拆任様書并分拆場繪圖  
ヲ添ヘテ稟候アリ因テ詮議ノ旨アルヲ以テ聽  
取シ難シト指令セリ  
九月十日

### 第二節

横濱税関へ此田岡田平藏ヨリ外務省ノ免状等  
ヲ添ヘテ通関申請セル羽後國船川港ヨリ米國  
蒸氣エリエル船ヲ以テ積来ル銀銅鉛ハ官用品  
ニ疑ヒナキニ付速ニ通関取計フヘキ旨違セ

リ  
七月廿

### 第三節

正院へ濱松静岡兩縣ヨリ申牒ニ石坂周造外教  
名ノ者共管内榛原城東二郡ノ内三十四ヶ村ニ  
於テ石腦油ヲ掘取精製セシニ信越兩國ノ石油  
ヨリ其出ルル多シテ且質ノ美ナルニ由リ此間  
米國人ヲ雇ヒ彼國ノ機械ヲ以テ尚一層精製方  
ヲ盛大ニシ其出油石高一割ノ五分ハ地主五分  
ハ村方救助ノ費用ニ充テ又賣揚ノ一割ヲ以テ  
納税ニ供スヘシ且其資本金ノ如キハ同志輩ヨ

米國人

同志輩

リノ出金アルヲ以テ右精製方并石油會社名義  
、免許ヲ乞フト其會社規則及ニ出金人名等ノ  
書類ヲ添ヘテ申請アル旨右ハ同縣人民ニ於テ  
支障ナク且貫屬授産ノ一助トモナリ又資本金  
ノ用途モアレハ宜ク免許シテ然ルヘシ最會社  
規則中一二不都合ノ箇条アルヲ以テ精細調査  
ノ上再ヒ候問スヘキ旨指令シテ可ナランヤト  
其指令案ヲ添ヘテ稟候セシニ正院ヨリ候スル  
所ノ如シト達旨アリ  
因テ濱松縣へ石油  
精製方ハ免許スヘシ最會社規則中若シ意見ノ

如ク利益アラサル時醸金放散并入費金償却方  
法等ナケレハ恐クハ後來支障アルヘケレハ宜  
ク其方法ヲ設クヘシ且利益金配付方ノ如キハ  
入社ノ前後ヲ論セス出金ノ多寡ニ隨ヒ平等配  
付シテ然ルヘケレハ尚精細調査シテ候問ス  
但納税方ハ候スル所ノ如シト指令シ  
静岡縣へハ候スル所ノ石油會社ノ名義ハ免許  
スヘシト指令セリ  
四月廿

第四號

岡田平藏外一名ヨリ向ニ受負稼方ノ命ヲ受ケ

精製方

精製方

精製方

シ秋田縣阿仁銅山外四ヶ山ハ當五月一日ヲ以テ分畧ヲ立テ引渡スヘシトノ違旨アリ然ルニ當五月ヲ以テ分畧トスレハ諸鑛物ノミナラス諸品諸費ノ區分モ容易ナラサルニ由リ従前藩制ノ如ク毎年九月ヲ以テ分畧ヲ定ムヘシ且昨至申九月迄ハ任上勘定モ判然タルヲ以テ十月以來縣廳ノ仕入金ハ速ニ返納スヘケレハ出山ノ鑛物ハ悉皆下付アラシムテ乞フ若シ其命ヲ得スンハ此田下渡ノ命ヲ受ケ蒸氣エリエル船ヲ以テ積束ル所ノ十月出山ノ荒鑛銀ヲ拂下ア

ラシ欲右兩條ノ内宜ク聽許アリタシト其代價積書ヲ添ヘテ申牒アリ因テ岡田平藏へ昨至申九月限り分畧ヲ立テ十月一日以來引渡ノ都合ニ取計フヘシ就テハ昨十月ヨリ本年四月三十日迄ノ仕入金ハ官ヨリ仕拂ヒシ者ナルヲ以テ他日金額調査ノ上達スヘケレハ此金額へ一月一步ノ利子ヲ加ヘテ上納スヘシト指令シセ八月又秋田縣へモ右指令ノ旨ヲ以テ其縣ニテ昨十月一日ヨリ本年四月三十日迄ノ仕入金額ハ別途交付スヘキニ由リ明細勘定帳ヲ以テ至急

秋田縣

大藏

受取方申出ツヘキ旨ヲ達セリ七月廿八日

第五節

足柄縣ヨリ管下伊豆國賀茂郡毛倉野村其外鑛  
山産出ノ吹目金此回亦百二十三匁前ノ如ク貴  
省ニ於テ買上アラントヲト申請アリ因テ相當  
ノ代價ヲ以テ買上クヘキニ由リ當省ヘ差出ス  
ヘシト指令セリ八月廿五日

第六節

工部省ヨリ庚午三月中鑛山器械代價トシテ横  
濱通商司ヨリ洋銀三万六千弗ヲ受取り米入

ヤルシンマセリシ會社ヘ交付セシカ其殘金洋  
銀千百四十六弗七十一セシトハ此回返納ニ及  
フト傳票并精算帳ヲ添ヘテ未牒アリ因テ出納  
憲ヘ返納スヘシト回答セリ八月三十一日

第七節

岐阜縣ヨリ管下美濃國郡上郡畑佐村銅鑛山ハ  
候間ヲ經テ同國各務郡及見村篠田三郎兵衛ヘ  
受負稼ヲ命セシニ由リ其取締トシテ貫屬濱野  
昌三外一名本年四月中鑛山掛ヲ命シ年給三十  
圓宛ヲ給與セシカ向ニ九月一日ヨリ日本抗法

大  
義

規則施行スヘキ旨布達アルニ付テハ右鑛山掛  
ノ者廢置ノ處分ハ如何シテ可ナランヤト稟候  
アリ因テ工部省ヘ候間スヘシト指令セリ  
九月廿五日

大藏省考課状

貨幣蓄積ノ部

明治六年七月ヨリ  
九月至ル

目次

第一號

開拓使ヘ犯罪入没入實金錢處分ノ高議

第二號

東京府ヨリ外堀中ニテ拾取シ銀處分ノ稟候

第三號

神奈川縣ヨリ管下埋藏銅錢處分ノ稟候

第四號

附録

大藏省